

第30回若山牧水賞の概要

1 賞の目的

人間や自然への溢れる想いを歌い、日本の短歌史に偉大な足跡を残した国民的歌人「若山牧水」の業績を永く顕彰するため、短歌文学の分野で傑出した功績を挙げた者に賞を贈ることによって、我が国の短歌文学の発展に寄与するとともに、心豊かな文化意識の高揚と本県のイメージアップを図る。

2 主催

宮崎県、宮崎県教育委員会、宮崎日日新聞社、延岡市、日向市

3 賞の対象

令和6年10月1日から令和7年9月30日までに刊行された歌集及び若山牧水論の著者の中から、これまでの実績を参考にし、短歌文学の分野で傑出した功績を挙げた者。

4 受賞者数

原則として毎年1名

5 選考方法

上記3の対象者の中から、全国の有力歌人にアンケートを行い、その結果を参考にして選考委員の総意をもって運営委員会の決定とする。

6 選考委員

佐佐木幸綱氏（歌人、日本藝術院会員、「心の花」主宰・編集長、第2回若山牧水賞受賞）
高野 公彦氏（歌人、「コスモス」発行人、第1回若山牧水賞受賞）
栗木 京子氏（歌人、「塔」選者、第8回若山牧水賞受賞）
伊藤 一彦氏（歌人、宮崎県立図書館名誉館長、「心の花」会員、「現代短歌・南の会」代表）

7 特別顧問

岡野 弘彦氏（歌人、日本藝術院会員）
馬場あき子氏（歌人、日本藝術院会員、「かりん」主宰）

8 賞

正賞（賞状、記念品：トロフィー）及び副賞（賞金100万円）

9 若山牧水賞運営委員会

委員長 宮崎県知事 河野俊嗣
副委員長 宮崎日日新聞社代表取締役社長 見山輝朗
宮崎県教育長 吉村達也
委員 延岡市長 三浦久知、日向市長 西村賢、
（公財）宮崎県芸術文化協会会長 岩切裕敏、歌人 伊藤一彦、
宮崎日日新聞社編集局長 森耕一郎、宮崎県総合政策部長 川北正文
監事 宮崎日日新聞社生活文化部長 川路善彦、宮崎県総合政策部次長 長友修一

10 後援

（公財）宮崎県芸術文化協会、宮崎県歌人協会、若山牧水延岡顕彰会、日向若山牧水顕彰会、朝日新聞社、毎日新聞社、読売新聞西部本社、西日本新聞社、日本経済新聞社宮崎支局、南日本新聞社、共同通信宮崎支社、時事通信社宮崎支局、NHK宮崎放送局、MR T宮崎放送、UMKテレビ宮崎、エフエム宮崎、夕刊デイリー新聞社、MCN宮崎ケーブルテレビ、ケーブルメディアワイワイ

11 歴代受賞者

第1回	高野公彦氏	歌集「天泣」
第2回	佐佐木幸綱氏	歌集「旅人」
第3回	永田和宏氏	歌集「饗庭」
第4回	福島泰樹氏	歌集「茫漠山日誌」
第5回	小高賢氏	歌集「本所両国」
	小島ゆかり氏	歌集「希望」
第6回	河野裕子氏	歌集「歩く」
第7回	三枝昂之氏	歌集「農鳥」
第8回	栗木京子氏	歌集「夏のうしろ」
第9回	米川千嘉子氏	歌集「滝と流星」
第10回	水原紫苑氏	歌集「あかるたへ」
第11回	坂井修一氏	歌集「アメリカ」
	俵万智氏	歌集「プーさんの鼻」
第12回	香川ヒサ氏	歌集「perspective」(パースペクティブ)
第13回	日高堯子氏	歌集「睡蓮記」
第14回	大島史洋氏	歌集「センサーの影」
第15回	島田修三氏	歌集「蓬歳断想録」
	川野里子氏	歌集「王者の道」
第16回	大下一真氏	歌集「月食」
第17回	大口玲子氏	歌集「トリサンナイト」
第18回	晋樹隆彦氏	歌集「浸蝕」
第19回	大松達知氏	歌集「ゆりかごのうた」
第20回	内藤明氏	歌集「虚空の橋」
第21回	吉川宏志氏	歌集「鳥の見しもの」
第22回	三枝浩樹氏	歌集「時禱集」
第23回	穂村弘氏	歌集「水中翼船炎上中」
第24回	松村由利子氏	歌集「光のアラベスク」
	黒岩剛仁氏	歌集「野球小僧」
第25回	谷岡亜紀氏	歌集「ひどいどしゃぶり」
第26回	黒瀬珂瀾氏	歌集「ひかりの針がうたふ」
第27回	奥田亡羊氏	歌集「花」
第28回	永田紅氏	歌集「いま二センチ」
第29回	大辻隆弘氏	歌集「橡と石垣」
	高山邦男氏	歌集「Mother」